

くぬぎ台小のめざす学校の姿

世界一笑顔あふれる楽しい学校

☆2020年度からの新たな追加重要項目
 ・新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止
 ・新型コロナウイルス感染症による差別・偏見防止

子どもが主役の
笑顔の絶えない学校

学習の自立と
心の自律の実現

認め合い、
励まし合い、磨き合う仲間

教職員一丸となった
チームとしての学校経営



学校教育目標

元気な子

考える子

しんせつな子

がんばる子

ー主体性、創造性に富んだ人間性豊かな児童の育成ー

情報化やグローバル化など、急激な社会的変化の中で、また、現在新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大しているような生命や平和を脅かす難局に対して、子どもたち一人一人が、未来の創り手として、主体的に課題と向き合い、他者と協力しながら解決し、個人や社会の成長のために必要な新たな価値を生み出していくことが求められていく。そのような子どもたちの将来を見据えた中で、「主体性、創造性に富んだ人間性豊かな児童の育成」に取り組んでいく必要があると考える。そのためには、まず「自分に自信をもち、自分の良さを発揮する」ことを土台にし、「主体的に考え行動する力」や「人と共に創り出す楽しさ」、「人の役に立つ喜び」、「周りの人への感謝の心」の育成を大切にして教育活動にあたり、チーム(児童、教職員、保護者・家族、地域)として共通理解を図りながら、教育目標に向かっていきたい。

輝く自分を創る

学びを創る

くぬぎ台小のめざす児童の姿

人との関わりを創る

健康な身体・生活を創る

1. 自分に自信をもち、
自分のよさを発揮する子

- 自分のよさを発揮する
- 失敗を恐れず挑戦する
- 感謝の気持ちを持つ
- 課題に立ち向かい解決しようとする

2. 進んで学び考え、表現できる子

- 学ぶことの意義や楽しさを感じ取る
- 基礎基本的な知識技能を身につける
- 思考力・判断力・表現力等を身につける
- 新たな学びに意欲的に取り組もうとする

3. 友だちのよさを認め、
思いやり、協力できる子

- 相手のよさを認める
- 相手の立場を考える
- 社会性を身につける
- 友だちと力を合わせ高め合う

4. 健康づくりに努め、生活をよりよ
くしようと進んでがんばる子

- 健康づくり 安全に努める
- 自らの生活をよりよくなる
- 粘り強く挑戦をする
- 正しく判断し行動する

2022度 指導テーマに迫るために

☆新学習指導要領完全実施2年目

《重点1》 【学校生活全体で育てる】

- ①自己有用感を高める
- ②自己肯定感を高める
- ③失敗を恐れず積極的に挑戦する態度の育成
- ④家族・友だち・地域などに感謝する心の育成
- ⑤様々な課題に前向きに向き合う力の育成

《重点2》 【授業づくり】

- ①基本的な学習習慣の確立
- ②主体的・対話的で深い学びの授業実現
- ③基礎基本の定着、学習意欲の向上、思考力・判断力・表現力の向上
- ④伝え合う授業の推進(聴く・話す・つなげる)
- ⑤ ICT の効果的な活用⑥校内研究の取組

《重点3》 【仲間づくり】

- ①認め合う場づくりの設定
- ②認め合える生活集団づくりの設定
- ③人権教育の推進
- ④自然体験等の様々な体験活動の設定
- ⑤心のこもった挨拶・やさしい言葉遣いの推進・定着

《重点4》 【生活づくり】

- ①健康づくりの推進
- ②安全教育の充実
- ③係活動・委員会活動の活性化
- ④全校集会の実施、自主的な活動の設定
- ⑤規範意識の育成
- ⑥おひさまタイムの推進
- ⑦保健指導、食育指導の推進

《重点5》 《支援教育を推進する》

- ①児童理解の充実
- ②学年内指導の推進
- ③学校組織としての支援
- ④交流・共同学習の充実(インクルーシブ教育に向けて)
- ⑤校内研修の充実

《重点6》 《保護者・地域との連携を図る》

- ①情報発信(HP・各種たより)
- ②学校行事・授業参観の公開
- ③幼・保・中との連携、各種機関との連携
- ④学校教育活動への参加協力(授業サポート、講師等)
- ⑤学校教育反省アンケートの実施

《重点7》 《教職員の健康と指導力向上》

- ①校内研修の実施、校外研修への参加
 - ②校内研究の推進
 - ③よりよいチームワークの構築(学び合い・認め合い・高め合い)
 - ④働き方改革の推進・実行
- 「教員の健康を守り、研鑽時間を確保して授業力の向上を図る」

